

令和5年度入学者選抜試験問題

(国際資源学部)

小論文

一般選抜（後期日程）

注意事項

- 1 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
- 2 この問題冊子の中で、問題は3ページです。解答用紙は2枚あります。
- 3 試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの乱丁・落丁および解答用紙の汚れ等に気付いた場合には、手を挙げて監督者に知らせなさい。
- 4 監督者の指示に従って、解答用紙に受験番号を記入しなさい。
- 5 解答は、解答用紙の該当欄に横書きで記入しなさい。
- 6 配付された解答用紙は、持ち帰ってはいけません。
- 7 試験終了後、解答用紙のみ提出しなさい。問題冊子および下書き用紙は持ち帰りなさい。

問題 次の文章を読んで、後の設問に答えなさい。

本文省略

出典：内閣官房水循環政策本部事務局(令和元年度 水循環施策)より一部改変

本文省略

設問

- 問 1** 日本の年平均降水量が世界の年平均降水量よりもはるかに大きいにも関わらず、我が国の首都圏における一人あたり水資源賦存量が北アフリカや中東諸国と同程度の値になっている理由を 100 字以内で説明しなさい。
- 問 2** 日本各地にダムやため池などの人工的な貯水施設が整備されている理由を、日本の気候や地形と利水（水の利用）の観点から 150 字以内で説明しなさい。
- 問 3** 国際河川では複数の国家が水資源を共有するため、関係する国家間で問題が発生することがある。国際河川において起きる可能性のある国際問題を最大 2 つまで示し、その解決策について、水資源管理の観点から 200 字以内で論じなさい。